

## Mis días en México

CEPE の授業も終了し、ついにメキシコでの滞在期間も残り 1 か月を切りました。少しずつ、帰国に向けた準備を始めているところです。

### 1. CEPE 振り返り

6 月いっぱいをもって、10 か月間通った CEPE 語学学校のコースを修了しました。この節目に、これまでの経験を振り返ってみたいと思います。

私は大学では第 2 外国語としてスペイン語を履修していなかったものの、メキシコ渡航前に約 5 か月間スペイン語を学び、CEPE では Nivel 3 からスタートしました。日墨 51 期生は全体で 32 人おり、そのうち Nivel 3 から始めたのは最も多く、9 人でした。レベルが上がるにつれて他国からの受講生は減少するため、生徒が日墨生のみになることもありました。日本人が少ないクラスを希望するのであれば、午後の授業を選択することをおすすめします。

研修の規定上、Nivel 6 を修了すれば CEPE を卒業し、インターンシップや研究活動に進むことも可能ですが、私は Nivel 7 まで履修しました。

Nivel 7 では、文法の総復習を中心としつつ、メキシコ特有のスラングを学ぶ機会もありました。リスニングの練習では、スペインやアルゼンチンなど、さまざまな国の話者が話すスペイン語を聞き取る練習も多く行われました。

テストは文法、リスニング、リーディングともにすべて選択式ですが、次のレベルに進むには 70 点以上が必要であり、しっかりとした対策が求められます。

各コースでは、メキシコや自国に関するプレゼンテーションの機会もあり、さまざまな国の文化を知ることができるため、非常に興味深い内容となっています。

スペイン語の授業に加え、文法と文化に関する授業も別途履修する必要があります。文化の授

業では、講義形式に加えて、CEPE 近くの遺跡や博物館を訪れることもあります。今学期、私はメキシコシティのインディヘナ(先住民)に関する授業を履修しており、マサワ族の方が実際に来校してお話をしてくださる機会もありました。とても興味深く、貴重な経験となりました。なお、Nivel 4 までは文化の授業は 90 分ですが、Nivel 5 以降は 2 時間半となるため、自分の興味に合ったテーマの授業を選ぶことをおすすめします。

渡航前に文法の基礎をしっかりと身につけておくことで、CEPE ではより高い Nivel からスタートが可能になります。限られた研修期間を有効に活用するためにも、日本にいる間にできる限りスペイン語の学習を進めておくと思いいます。

## 2. メキシカンリーグオールスター戦

6 月 28 日・29 日・30 日の 3 日間にわたり、メキシコ野球のオールスター戦が開催されました。今年はメキシカンリーグ創設 100 周年という記念すべき年だったため、例年以上に盛大なイベントとなりました。チケットはすぐに完売しましたが、運良く購入することができました。本来は 2 日間の予定でしたが、雨季の影響で 2 日連続の激しい雨に見舞われたため、オールスター戦本戦は 30 日に延期されました。

1 日目には、メキシコの芸能人による野球対決と、ホームランダービーが行われました。ホームランダービーでは、選手たちの力強いバッティングに観客も大興奮。中でも特に注目を集めたのは、Art Charles 選手の一打です。536 フィート(約 163 メートル)も飛んだこのホームランは、アメリカの MLB や日本、韓国、メキシコのプロ野球を通じて、これまでで最も飛距離のあるホームランとして記録されたそうです。会場はその瞬間、歓声と拍手で大きく沸き上がりました。2 日目は残念ながら雨で試合は中止となりましたが、代わりに 100 周年を祝う記念の花火が打ち上げられ、多くの観客が色とりどりの花火を楽しんでいました。試合が中止と決定するまでの約 2 時間、球場の屋根のある場所で待機していましたが、観客たちは流れてくる音楽に合わせて歌ったり踊ったりして、とても楽しそうに過ごしていました。雨で予定が変更

なってしまっても、明るくその場を楽しむメキシコの人たちの姿がとても印象的でした。

3 日目の試合は、平日の午後4時に開催されたため、観客はそれほど多くありませんでした。私は本来外野席のチケットを持っていましたが、観客が少なかったこともあり、実際の購入者が来るまで好きな席に座ってよいというメキシコならではの柔軟な対応がされていました。そのおかげで、かなり間近で試合を観戦することができ、貴重な体験となりました。



### 3. メキシコシティ散策

メキシコでの研修期間中、さまざまな州を旅行してきましたが、帰国が近づいてきたこともあり、これまで訪れたことのなかったメキシコシティのスポットにも足を運んでみました。最初に訪れたのは、国立人類学博物館前の広場です。ここでは、「Danza de los Voladores」と呼ばれるトナカ族の伝統的な儀式が、観光客向けに毎日披露されています。

この儀式では、中央に立てられた高さ約 20 メートルの柱に、Voladores(ボラドーレス)と呼ばれる 5 人の男性が登ります。その後、1 人は柱の頂上に立ち、笛と太鼓で音楽を奏でます。一方、残る 4 人はロープに身体を固定し、柱の上から逆さに吊るされたまま空中を旋回しながら、ゆっくりと地上へ降りていきます。この儀式は、雨乞いや豊作の祈願として行われるもので、

自然や神々とのつながりを大切にする先住民の世界観を表しているそうです。メキシコに  
間に一度は見てみたかったので、とてもいい経験になりました。

その後は、少し歩いてチャプルテペック動物園へ向かいました。この動物園はとても広く、陸  
の動物だけでなく海の生き物も見ることができます。中でも特に注目されているのが、パンダ  
です。この動物園のパンダは、中南米で唯一のパンダであり、非中国籍のパンダとしても唯一  
の存在だそうです。また、現在海外で飼育されているパンダの中で最も長寿の 35 歳だそうで  
す。私が行ったときは、ちょうどお昼寝中で、パンダの体の一部しか見ることはできませ  
んでした。他にも日本ではあまりなじみのない動物も多数おり、面白かったです。誰でも無  
料に入ることができるので機会があればぜひ行ってみてください。



おわりに

さまざまなことに挑戦し、思い残すことのないように残りの一か月間も充実した生活を送りたい  
と思います。